

## 教育研究業績概要

氏 名 秋田 展幸 ( )				
研究分野		所属学会等の名称		
分子病態学、臨床工学		日本臨床工学技士会、三重県臨床工学技士会、日本体外循環技術医学会、日本人工臓器学会、日本呼吸療法医学会、日本血栓止血学会、日本血液学会、日本生化学会		
担当授業科目名				
生体機能代行装置学Ⅰ、生体機能代行装置学演習Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ、臨床工学概論、臨床工学特別講義Ⅱ・Ⅵ、生体機能代行装置学実習Ⅰ・Ⅱ、生体計測装置学実習、医用治療機器学実習、画像診断学実習、医療人底力実践（基礎Ⅰ・Ⅱ）、臨床実習				
教育上の能力に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 教育の実践例、教育に関する評価等	2010年～現在	臨床での経験及び臨床実習生指導経験を活かした講義・実習内容にすることにより教育向上の工夫を行っている。		
2 作成した教科書、教材、指導書等				
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等	2005年～2010年	臨床勤務時において臨床工学技士養成校からの病院実習生に対して、臨床現場で必要とされる知識・技術の指導を積極的に行った。		
日本臨床工学技士会教育施設協議会教科書委員会委員	2011年～現在	日本臨床工学技士会教育施設協議会		
職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 資格、免許、特許、受賞等				
臨床工学技士	2005年	厚生労働省		
3学会合同呼吸療法認定士	2012年	3学会合同呼吸療法認定士認定委員会		
第75回日本血液学会学術集会優秀ポスター賞	2013年	日本血液学会		
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等				
三重県臨床工学技士会理事（実態調査委員長）	2010年～2011年	三重県臨床工学技士会		
三重県臨床工学技士会理事（副会長兼実態調査委員長）	2012年～現在	三重県臨床工学技士会		
中部臨床工学技士会連絡協議会組織委員会委員	2013年～現在	中部臨床工学技士会連絡協議会		
日本臨床工学技士会代議員	2015年～現在	日本臨床工学技士会		
研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書)				
(報告書等)				
・プロテインCインヒビターによるアノキス誘導に基づく新規腎癌治療法の開発	単著	2014	文部科学省	文部科学省・科学研究費・若手研究(B)(2012-2014)報告書
学術論文 学会発表等の題名		発表者名		発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等
(学術論文)				
・ Host protein C inhibits tumor growth, but promotes tumor metastasis, which is correlated with hypercoagulability.		Akita N, Ma N, Okamoto T 「ほか6名」		Thrombosis Research. 135(6):1203-8, 2015.
・ Endothelial connexin32 regulates tissue expression induced by inflammatory stimulation and direct cell-cell interaction with activated cells.		Okamoto T, Akita N, Hayashi T 「ほか3名」		Atherosclerosis. 236(2):430-7, 2014.
・ Endothelial connexin32 enhances angiogenesis by positively regulating tube formation and cell migration. 「ほか7編」		Okamoto T, Akita N, Kawamoto E 「ほか3名」		Experimental Cell Research. 321(2): 133-141, 2014.

<p>(学会発表等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Possible mechanism of activated protein C-induced inhibition of osteoclast differentiation.</li> <li>• 活性化プロテインCは、EPCR、PAR-1およびapoEレセプター2を介して破骨細胞分化を抑制する.</li> <li>• Host protein C inhibits tumor cell growth, but promotes tumor cell metastasis by its procoagulant properties in vivo.</li> </ul> <p>「ほか49件」</p>	<p>Akita N, Yoshida K, Okamoto T 「ほか4名」</p> <p>秋田展幸, 吉田格之進, 岡本貴行 「ほか4名」</p> <p>Akita N, Okamoto T, Nishioka J 「ほか2名」</p>	<p>The International Society on Thrombosis and Haemostasis 2015 Toronto</p> <p>第37回日本血栓止血学会学術集会 2015 山梨</p> <p>第75回日本血液学会学術集会 2013 北海道</p>
<p>(その他)</p>		